

バーチャル体験で学ぶ 認知症の世界

認知症の方が見ている世界は、言葉だけではなかなか想像しにくいものです。

この講座では、VR(バーチャル・リアリティ)ゴーグルを使い、認知症特有の感覚を疑似体験することができます。体験後は、感じたことを他の参加者と共有しながら、接し方や支援のヒントを一緒に考えましょう(*^-^*)

【日時】12月22日(月)10時～12時

【講師】岡山県庁子ども・福祉部 長寿社会課 職員

【内容】VR(バーチャルリアリティ)システムを利用し、認知症特有の症状を疑似体験。体験後、参加者同士で話し合うグループワーク

【対象】10代～60代までの方

※めまい、メニエール病等の持病をお持ちの方、
補聴器使用者等聴覚障がいのある方は申込み前にご相談ください※

【定員】10人程度(先着順)

【参加費】無料 【持ち物】筆記用具

【申込み】**受付中。**操南公民館窓口・電話でお申し込みください。

【その他】

・12月14日(日)17時時点で申込みが6人以下の場合は中止とします。

中止の場合は申込をされている方へ公民館から電話連絡します。

・VR体験のみの参加はできません。

・状況により内容の一部変更、中止となる場合があります。

・公民館職員、講師が活動の様子を撮影し、広報(公民館だより、SNS等)に活用させていただく場合があります。



VR(Virtual Reality=仮想現実)とは、専用ゴーグルを装着してコンピューター上の3D映像や音の世界に入り込む技術です。たとえば、部屋の中にいながら海の中を泳いだり、宇宙を散歩したり、認知症の方の視界を体験したりと、実際にはそこにいない場所や状況を“その場にいるように”感じられます。

お申込み
問い合わせ先 **岡山市立操南公民館**
岡山市中区藤崎201-4

☎ (086) 276-7898

開館: 月～土 9時30分～21時
日曜は17時まで※水曜・祝日は休館